

2022. 12. 3

松江市小中一貫教育だより NO.15

小中一貫教育推進係 文責：安部

「松江＊森の演劇祭」を観てきました！



11/8～11/10 に八雲町のしいの実シアターで行われた「松江＊森の演劇祭」。松江市内の多くの学校から観劇の申し込みがあり、期間中には8校の小・中学校の子どもたち約600人が至福のひと時を過ごしました。子どもたちと共に観劇した先生方からも「本物に触れ、その迫力に感動したり、楽しさを味わったりすることがで

き、貴重な機会となった。」「自らの想像力を膨らませて観る必要があり、児童にとって良い経験となった。」「想像力が大いに刺激された。」「表現に生かせるスキルが詰まっていた。」「笑いの場面が多数ありストレス発散となった。」などという声が聞かれました。

また、観劇をした子どもたちは次のような感想をもちました。(㊦：小学生、㊧：中学生)

- 俳優さんたちの表情や声の出し方、動物の鳴き声など表現がすごかった。㊦
- ブルガリア出身の俳優さんが私たちのためにたくさん日本語を覚えて演劇をされていてすごいと思った。言葉を覚えるといろいろなことを伝えられるので、私も外国の言葉を覚えたい。㊦
- 演技が上手でびっくりした。すごく工夫もあり、はきはきとした言い方で聞きやすかった。㊦
- 照明1つで話の感じ取り方が変わるから、この小さな工夫も大切だと思った。この作者が見ている人に感じ取って欲しかったことは「人のことを考えて行動する」といいことが起こる」ということだと思った。これから自分も、大切な人や友達のことを考えて行動したい。㊦
- 明日が学校の発表会だけど、表情、大きな動き、声の大きさなど今日見たことを意識してやりたい。㊦
- お母さんとお父さんが許し合う心をもっているところにほっこりした。そして、ポジティブ思考なところがよかった。㊦
- 「予想することができない展開」で、普段、演劇を観ない自分も見入ってしまった。常に予想外をいくという楽しい作品だった。㊦
- 表情、言い方、動き方などいろいろなところで魅力を感じた演劇だった。字で読むよりも実際に観て、聴いて、感じた方がより楽しめると思った。とても楽しい内容で、自分も物語の中に入った気分になった。㊦
- 音の表現や気持ちの表し方がとてもうまくてすごいと思った。自分は気持ちを声でしか表したことがないけど、体で気持ちを表すと相手に伝わりやすくなったりおもしろくなったりするんだなあと思った。㊦
- いろいろな物語や演劇に触れながら世界を広げていけるのも楽しそうだと感じた。㊦

これから生き抜く子どもたちに必要な力として、「表現力」「コミュニケーション力」があげられます。今回の観劇を通して、子どもたちはプロの役者から多くの刺激をもらい、表現することのすごさを実感しました。そして、多くの表現方法を知りました。このような経験が積み重ねられ、自身の表現の幅を広げながら他者により良い関りができたらと思います。また、今回の観劇を通して物語の展開や表そうとしているもの、そしてそこにある人の思いなどを「想像する」ことがいかに大切かということも実感しました。少しでも想像できたら物事の見え方や感じ方が変わるかもしれませんし、相手との関わり方や動き方も変わってくるかもしれません。演劇の良さにたくさん触れた時間となりました。